

## 2024\_0305「駅前オーロラ（写真）」日々の理科 3498号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

2004年に開始した、オーロラの遠隔観測プロジェクトは、20年目を迎えました。その間5台のカメラを駆使して、ほぼ欠けることなく観測を続けています。カメラを設置しているのは、ポルユス（Porjus）という、スウェーデン北部の北極圏にある小さな駅の駅舎内です。

この駅はスウェーデンの「インランズバーナン（内陸鉄道）」にある駅で、夏の2か月間だけ列車が運行されます。運行といっても1日たったの1往復で、上り列車も下り列車も「初列車」が「最終列車」です。秋～春のオーロラシーズンは、「ヨックモック・マーケット」というお祭りの臨時列車を除いてめったに運行されません。

写真には、雪に埋もれた駅のプラットホームが写っていますが、ここは「世界一オーロラがよく見える駅のホーム」だと思います。いわば「駅前オーロラ」ですね。コロナ禍以降一度も訪れていないし、今年は「オーロラの当たり年」になりそうなので、是非行ってみたいです。

(2024年3月上旬／スウェーデン北部ヨックモック郡ポルユス駅／東京から遠隔観測)

